

1. 障がい福祉計画及び障がい児福祉計画に係る サービス見込量の推計方法

<推計方法(案)>

・将来のサービス量の推計にあたっては、「過去のサービス量実績の変化率の平均を用いたサービス見込量の推計」とする。「幾何平均」を用いる。

※「幾何平均」は、相乗平均ともいい、変化率等、割合に関する数値の平均値を求める場合によく用いられる。見込量の推計は比率(増加率)を用いた計算であることから、統計上、幾何平均で算出することがより適しているとされている。